

新春を寿ぐ

本年もよろしくお願ひ申し上げます

若穂地区住民自治協議会

役員・事務局一同



寂しいけど、長野電鉄屋代線は3月31日まで。大正11年(1922)6月10日に河東鉄道が屋代一須坂間を開業してから90年、その長い歴史に幕を閉じることになります。存続を願ってきた地元としては活性化協議会にも、長野電鉄にも、行政にもいろいろ言いたいことはありますが、最後は「ありがとう屋代線!」。若穂自治協は、思い出と感謝の気持ちを込めて〈お別れの企画〉をしたいと考えています。その機会には、大勢の皆さんのご参加をお待ちしています。

フォーラムに150人

今後、住民説明を予定します

12月15日のフォーラムでは市からバス代替や後利用の説明を受けて、質疑と意見交換。また、若穂も提出者となったLRT(次世代型電車システム)導入の市議会請願についても自治協から報告しました。これらについてさらに周知を図るため、今後、区単位で説明会(区長からの説明も含め)を開く予定です。



(仮)『ありがとう屋代線プロジェクト』のスタッフを募集します。一緒にやりませんか!

90年の歴史に幕を閉じる〈お別れの企画〉を検討し、実施するためのプロジェクトチームを立ち上げます。年齢・性別を問わずどなたでも大歓迎です。応募は1月16日(月)までに事務局へ。

☎050-3583-5700 有線2062

綿内春山の交差点が改良されました

～～ 安心して曲がれます ～～

春山区入口にあるこの交差点は通過車両が増える一方ですが、道路幅が狭いため、対向車がある場合は同時に曲がることができませんでした。そこで市による改良工事がおこなわれ、この程拡幅が完了。便利になりました。と言ってもスピードの出し過ぎは危険。ご注意ください!





『おひさまプロジェクト』市役所で写真展示

＝ 1月28日、SBC「市政番組」で放送決まる ＝

市役所第一庁舎2Fロビーでの写真や手紙などの展示は12月28日まででしたが、プロジェクトの活動を広く紹介することができました。また、SBCの放送は午後4:00～4:30で、自治協活動を取り上げる番組の中で若穂は『おひさまプロジェクト』が登場します。スタッフの皆さま、ありがとうございました。市は、春休みにも保科温泉での受け入れを検討中です。



火災警報器輸送は246個の注文

社協・区長会・消防団・若穂消防分署が協力して取り組みました。消防団の皆さまありがとうございます！なお、2月末まで追加受け付けしますが、補助(75歳以上のみの世帯・1000円)の受け付けは1月末までとなります。昨年の若穂の火災発生はボヤも含めて2件でした。さらにゼロを目指しましょう。



京都・南禅寺が広徳寺に南院国師（長池出身）の顕彰碑を建立

南禅寺の創建に大きく貢献された二世、南院国師は長野市の長池出身ですが、このたびその顕彰碑が若穂保科の広徳寺(〇〇〇〇住職)境内に建立され、12月12日に南禅寺中村文峰管長らにより除幕式がとりおこなわれました。これは南院国師生誕700年を記念するものですが、生誕の場所が定かでないことから、南禅寺を開山した大明国師の生誕地、若穂保科の広徳寺に顕彰碑が建立されたものです。除幕式には長池区長や郷土史研究会関係者、広徳寺関係者らが列席。自治協からも〇〇〇〇会長が出席し、市長メッセージを代読して祝賀の意を表しました。



【大明国師】 無関普門禅師(大明国師)は建暦2年(1212)に保科の地で生誕。保科氏の子。幼い時から越後・正円寺の伯父のもとに預けられ13歳で得度。諸方を尋ねた後、上野・長楽寺で禅を学ぶ。さらに京の東福寺で修業。40歳で宋に渡る。帰国して正円寺に帰り座禅三昧の時を過ごす。70歳の時に東福寺三代住持に迎えられる。11年後の遷化の年に、亀山法王の帰依を受けて南禅寺を開山。後に、後二条天皇より仏心禅師、後醍醐天皇より大明国師の号を賜る。

【南院国師】 規庵祖円禅師(南院国師)は弘長元年(1261)に長池の地で生誕。少年の頃から鎌倉浄妙寺に預けられ、後に円覚寺で禅の精進。さらに京の東福寺で無関禅師の元で修業。師の遷化の後、法皇の命により31歳の若さで南禅寺二世の住持。南禅寺伽藍の建立整備に後半生を捧げ、53歳で遷化。創建開山と呼ばれる所以。後に、醍醐天皇より南院国師の号を賜る。